

「スポーツの力」×「東京2020大会」応援企画



世界からのメッセージ

ブラジル大使館

As Olimpíadas estão chegando!!! **オリンピックが近づいています!!!**

大使からの挨拶

オリンピックとパラリンピック競技大会は常に克服の譬えでした。アスリートは競技について心配する前から己の限界を発見して乗り越えようとします。観客は自分たちの代表に期待して声援し、一緒に感動して泣きます。主催者は大会開催のはるか前からずっと後まで、競技の参加者や観戦者の心と記憶に残る大会を実現しようと努めます。



しかし2020年大会はさらに特別な大会です。最初の瞬間から感動的です。なぜならスポーツの闘いだけでなく、1年以上にわたる新型コロナウイルス感染症（COVID-19）という目に見えない敵に対する希望と団結、そして勝利を象徴するからです。日本に派遣されたブラジル代表として、リオと東京を結ぶオリンピックの架け橋の完成を垣間見ることをとりわけ嬉しく思います。フィールドや競技場での成果が逆境を共に乗り越える手本となることを確信しています。皆さん、頑張りましょう！

エドゥアルド・パエス・サボイア 駐日ブラジル大使

東京2020大会に対する想い



2016年リオ大会の終了とともにスタートした「リオから東京へ（from Rio to Tokyo）」の架け橋の特徴のひとつは、「すべての人々のインクルージョン（包摂）とアクセシビリティ」と「未来世代の

ための環境の持続可能な利用」の原則に基づき、人々の団結のメッセージを伝えることです。

これらの原則はリオデジャネイロ市の広範な都市活性化によって具体化されました。その象徴として、今後数十年間に人類が直面する機会と課題を、持続可能性と共存の観点から探求する応用科学博物館、「明日の博物館」が建設されました。

今日、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会はさらに特別な性格を帯びました。2021年にオリンピックとパラリンピックの聖火台に火が灯されるとき、共通の課題である新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を中心に人類が団結する新時代の幕開けとなるでしょう。

大会に向けた大使館や本国の取組

駐日ブラジル大使館と在浜松、在名古屋、在東京ブラジル総領事館は、ブラジルオリンピック・パラリンピック委員会（COB/CPB）とスポーツ連盟を全面的に支援するだけでなく、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（TOCOG）と日本側当局に常に協力して、オリンピックの聖火が2016年以上に輝くようにしています。

また、日本のホストタウン（弘前市、遠野市、埼玉県・新座市、大田区、相模原市、石川県・小松市、浜松市、加古川市、長門市、香川県・丸亀市・坂出市）は2017年以来賞賛すべき交流の取り組みを進めています。受け入れていただいたブラジル人選手や関係者は大会やワークショップに参加し、ブラジルがより多くのメダルを獲得できるよう開催国についての知識を深めました。ブラジル人選手のホストタウン訪問は、自治体住民にオリンピックの理念を伝える大切な手段であり、交流のたびにブラジル人アスリートに対する親愛の情が深まっています。



未来の東京について

ブラジルとスポーツ

私たちは2020年大会後の東京が、人間の架け橋によってすべての人々の受容と包摂を促す友愛的環境にもとづく新時代を迎え、多様性の中の団結に導かれて社会が共通の持続可能で協力的な未来へと向かうことを期待しています。

この架け橋を共に楽しみながら作っていくため、モニカと仲間たちを招待してブラジルで使ういくつかの表現を教えてください。

Olá! Eu me chamo... : (私の名前は。。。)

オラー! エウ ミ シャーモ。。。。

Podemos brincar juntos? (一緒に遊ぼうか?)

ポデーモス ブリンカール ジュントス?

Vamos, Brasil! (行くぞ、ブラジル!)

ヴァモス、ブラジル!

Força, Japão! (がんばれ、日本!)

フォルサ、ジャポン!



(Credits: MSP-BRASIL)

近年ブラジルでは、サッカーやバレーボールなどすでに国民のあいだに根付いた伝統的スポーツに加え、他のスポーツも注目を集めています。中でも2016年リオデジャネイロ大会でオリンピック正式種目となったラグビーは、年々多くのファンを獲得しています。ブラジルのラグビーはイベントや大会も多く、6万人以上のアスリートが国内各地の300以上のクラブに所属しています。

男女いずれにも人気のあるブラジルの女子ラグビーセブンズ代表チームは、すでに東京大会への出場を決めています。



(Credits: Fotojumo/CBRu)

大会を心待ちにしている子供たちへ!

「スポーツは若者に夢を与える普遍的な手段です。私はスポーツを通じて人生の本当の意味を、自分がいかに優れていて、さらに成長できるかを、メダルではなく、辿ってきた道、獲得した行動原理と学習したすべてから学びました。」

ヘベ・ゴンサウヴェス選手 (2020東京大会カヌー出場権獲得)



(Credits: Miriam Jeske/COB)

「現在のパンデミック禍は私たちに多くを考えさせました。これほど大きな出来事は世界に様々な変化をもたらします。」

そして世界は“停止”しました。私たちアスリートは、競技すること、国際レベルだけでなく国や州レベルでメダルを競うことはおろか、畳を踏むことさえ、練習仲間やトレーナー、先生、学際的医療チームと笑いあう機会さえ奪われました。



ティエゴ・マルケス選手 (2020東京パラリンピック大会柔道出場権獲得)

しかしそれでも、この状況下で大きな確信を抱くことができました。「柔道は私たち一人ひとりの一部である」という思いです。私たちが日々もっとも望んでいることは、再び稽古し、競技し、国に誇りをもたらすこと、好きなことをやり、仲間と笑い合い、道場でお互いに見事な一本を決め、柔道の理念を共有する人々と交わることです。

私、ティエゴ・マルケスは今、感謝の言葉を述べたいと思います。「私がこのスポーツを愛すること、それが私の一部であることを日々明らかにしてくれてありがとう。」

(Credits: Thiego Marques)

こちらのニュースレターはウェブで見ることができます!

今後も更新していきますので、お楽しみに!

オリンピック・パラリンピック準備局HP (ホームページ)

<https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/taikaiyunbi/kanren/embassies/index.html>



ブラジル大使館
LINE公式アカウント
お友達追加は →



@BrasembTokyo